

株式会社 **MORESCO**

小さくとも世界にきらりと光を放つ企業を目指して

第3四半期業績の概要

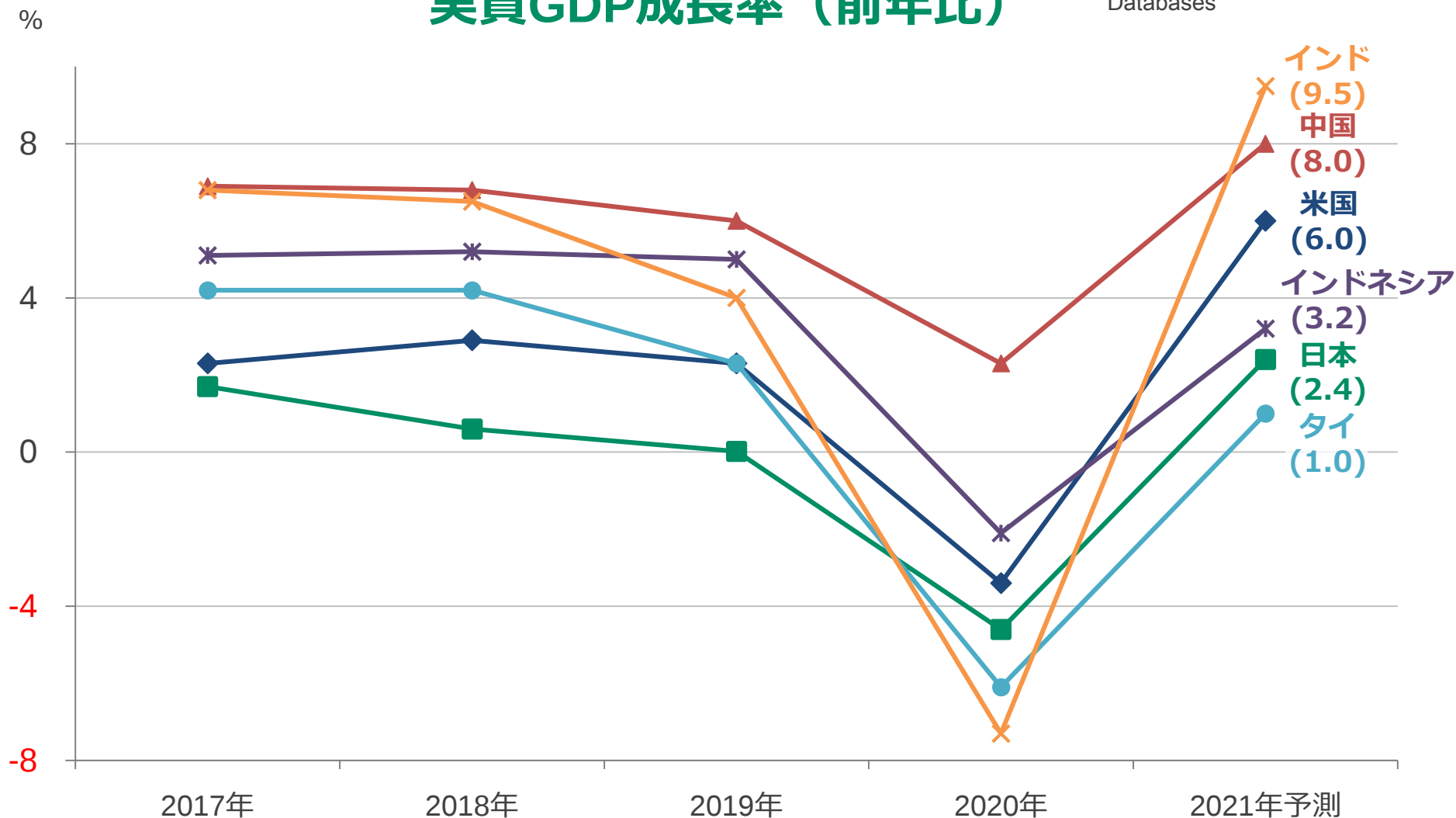
(2021年3月1日～2021年11月30日)

東証第一部5018 (石油・石炭製品)

2022/1

実質GDP成長率（前年比）

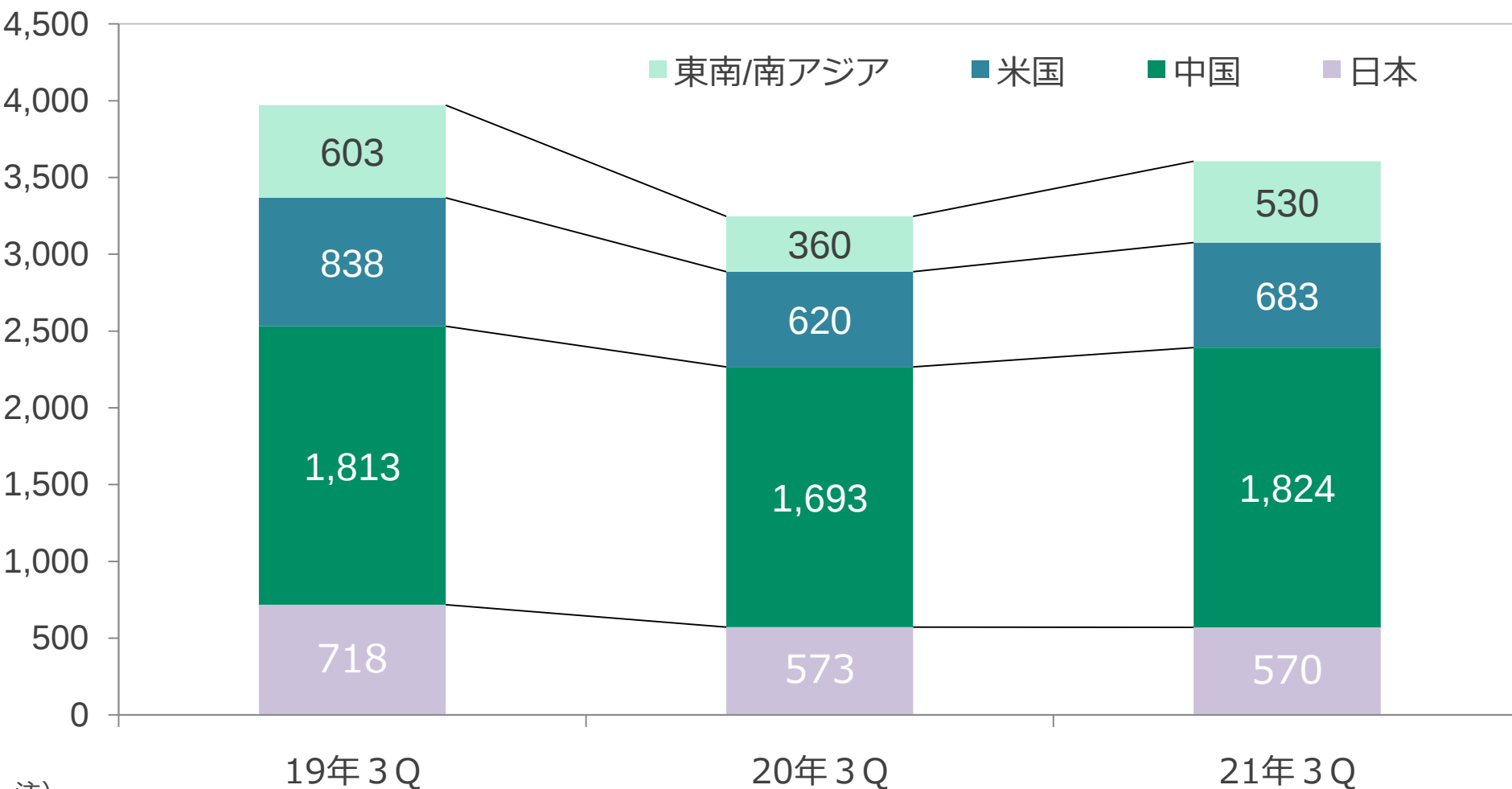
出展：IMF World Economic Outlook
Databases



当社拠点所在地における自動車生産台数

出典：マークラインズ社

単位：万台



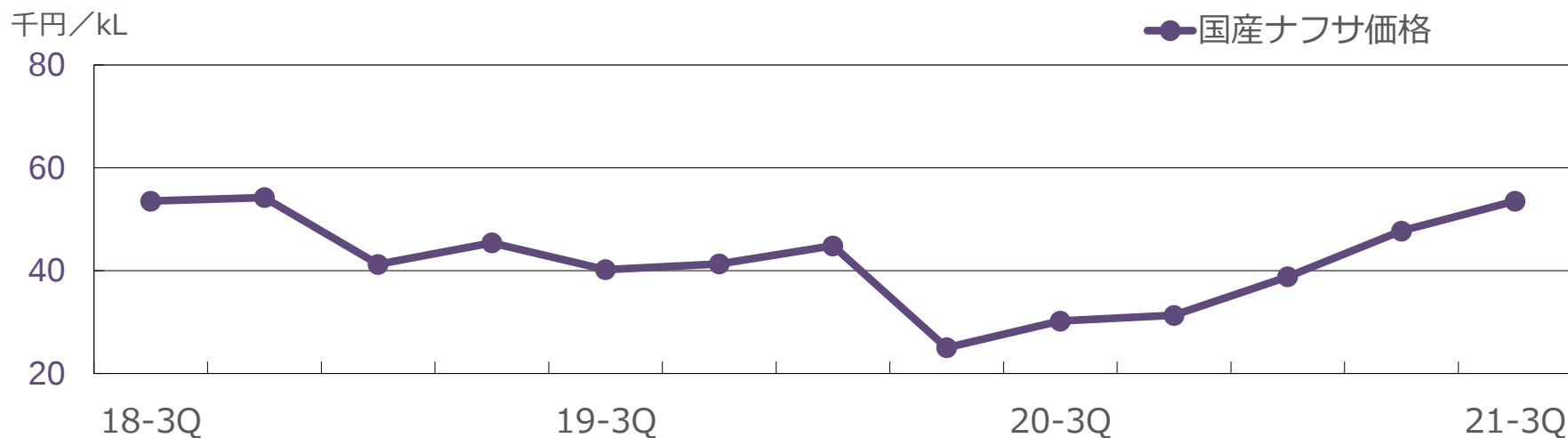
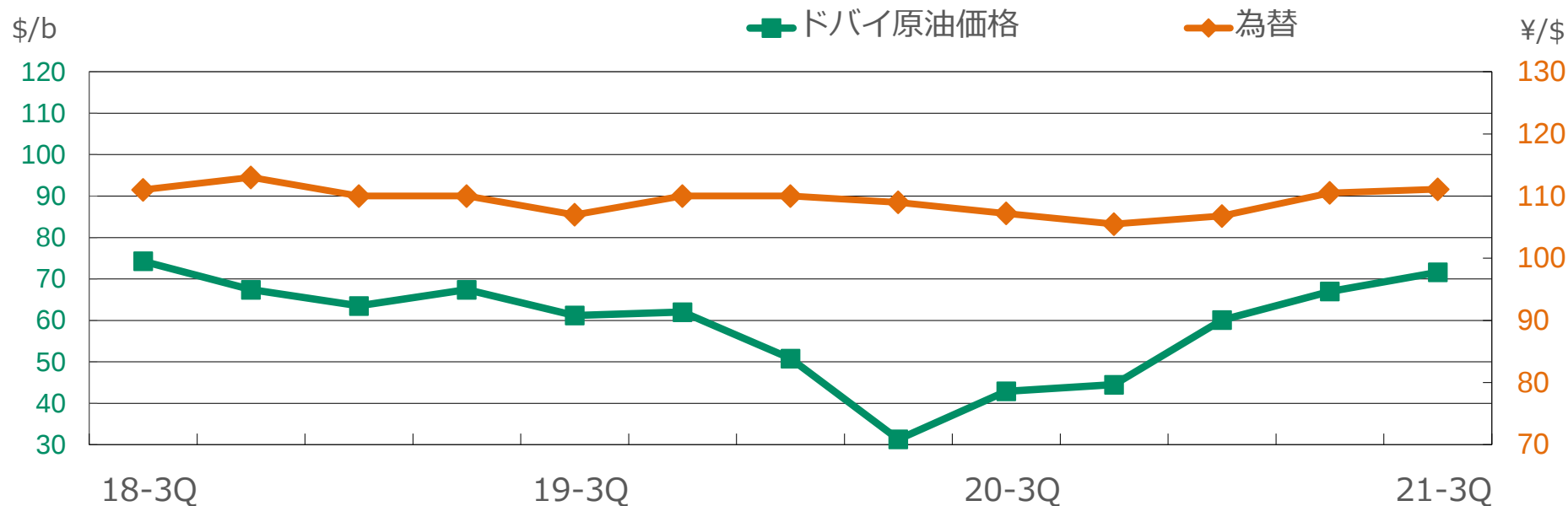
注)

①日本は3～11月で、海外は1～9月で集計

②東南/南アジアはタイ、インドネシア、インドを集計
(当社製造販売拠点所在地)

当期の経営環境（3）

MORESCO



決算概要 連結損益計算書

MORESCO

- 自動車生産の回復を背景とした増収、為替差益の計上による営業外収益の増加
- 賃貸用不動産の売却益を特別利益に計上

単位：百万円

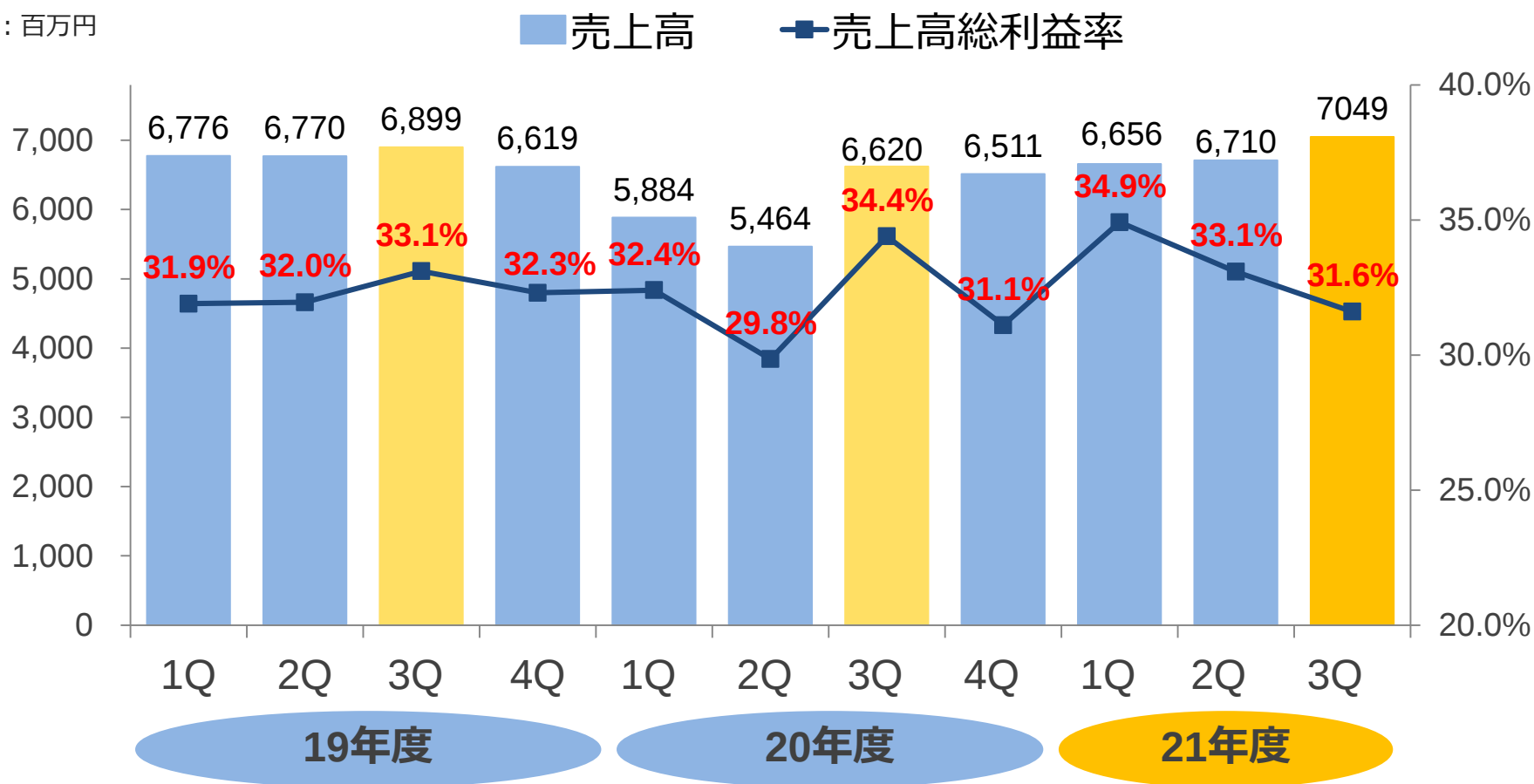
科目	20 / 3Q累計	21 / 3Q累計	前年同期比
売上高	17,968	20,415	+13.6%
売上総利益	5,813	6,772	+16.5%
販管費	5,172	5,397	+4.3%
営業利益	641	1,375	+114.5%
営業外損益	15	357	—
経常利益	656	1,732	+164.0%
特別損益	△20	833	—
税引前利益	636	2,565	+303.5%
当期純利益 (※)	303	1,730	+470.7%

(※) 親会社株主に帰属する当期純利益。以下同様。

売上高、売上総利益率の推移

- 売上高は2019年度の水準まで回復
- 材料価格の上昇により利益率は低下

単位：百万円



部門別売上高の内訳

MORESCO

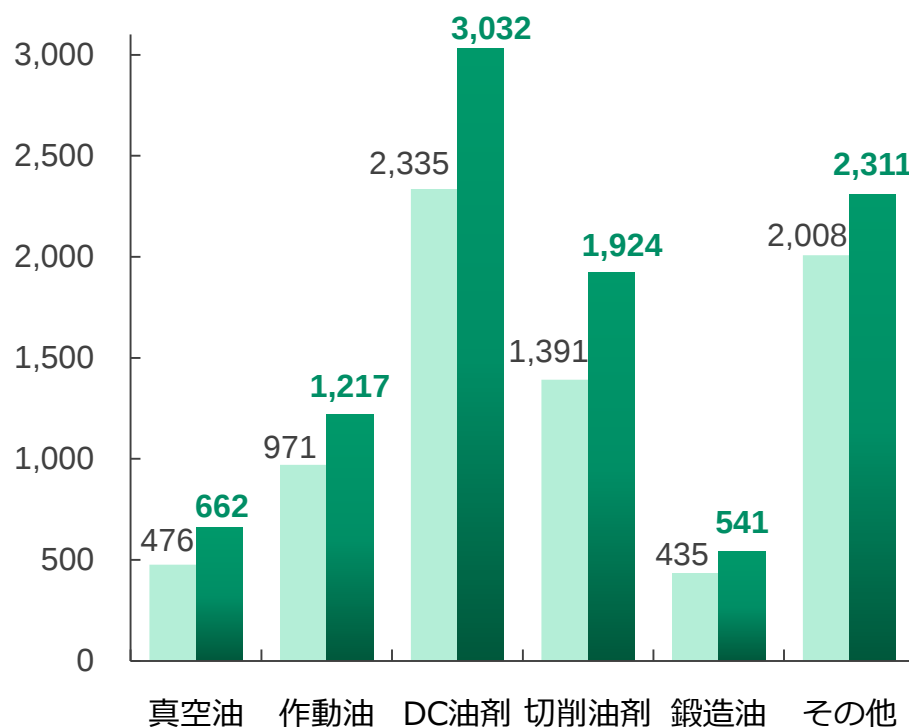
単位：百万円

科目	20 / 3Q累計	21 / 3Q累計	前年同期比
特殊潤滑油部門	7,617	9,687	+27.2%
合成潤滑油部門	1,428	1,529	+7.0%
（うち、HD潤滑剤）	669	529	△20.9%
素材部門	2,514	2,579	+2.6%
ホットメルト接着剤部門	5,058	5,086	+0.5%
その他	1,311	1,526	+16.4%
化学品事業計	17,928	20,407	+13.8%
ビル事業	40	8	△78.9%
売上高合計	17,698	20,415	+13.6%

➤ 部門全体の売上は前年比27.2%増（9,687百万円）
数量は22.7%増

単位：百万円

■ 20年 3 Q ■ 21年 3 Q



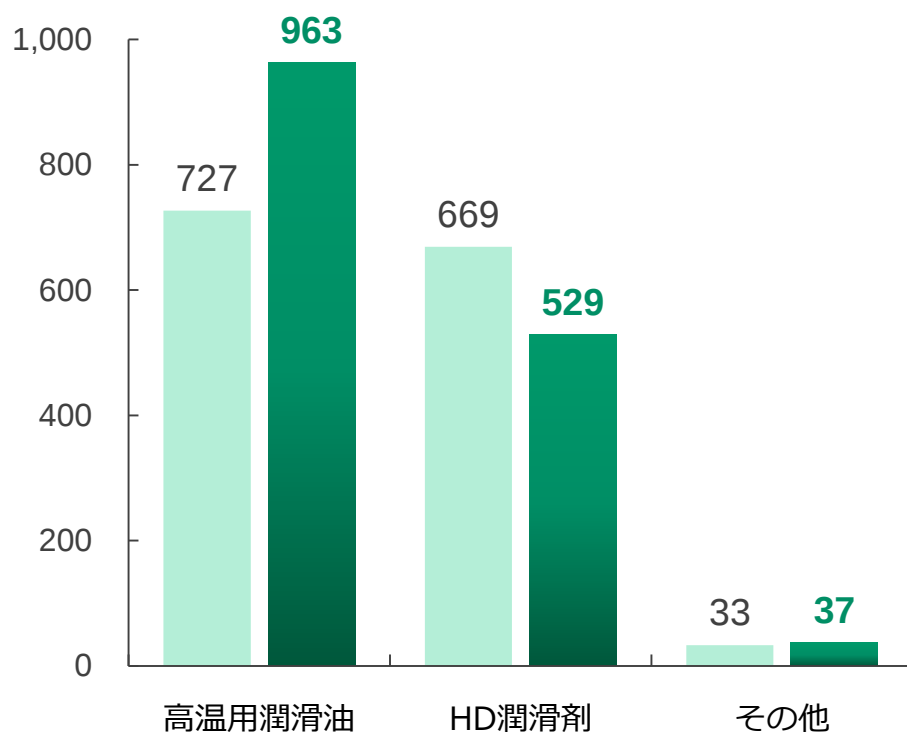
➤全般

- ・ 各国、地域での自動車生産が回復基調で推移したことにより、全般的に増収
- ・ 顧客での生産性向上に資する少量塗布型ダイカスト離型剤が国内外で順調に推移

➤ 部門全体の売上は前年比7.0%増（1,529百万円）

単位：百万円

■ 20年 3 Q ■ 21年 3 Q



➤ 高温用潤滑油

国内自動車生産の回復と旺盛な中国需要を背景に増収

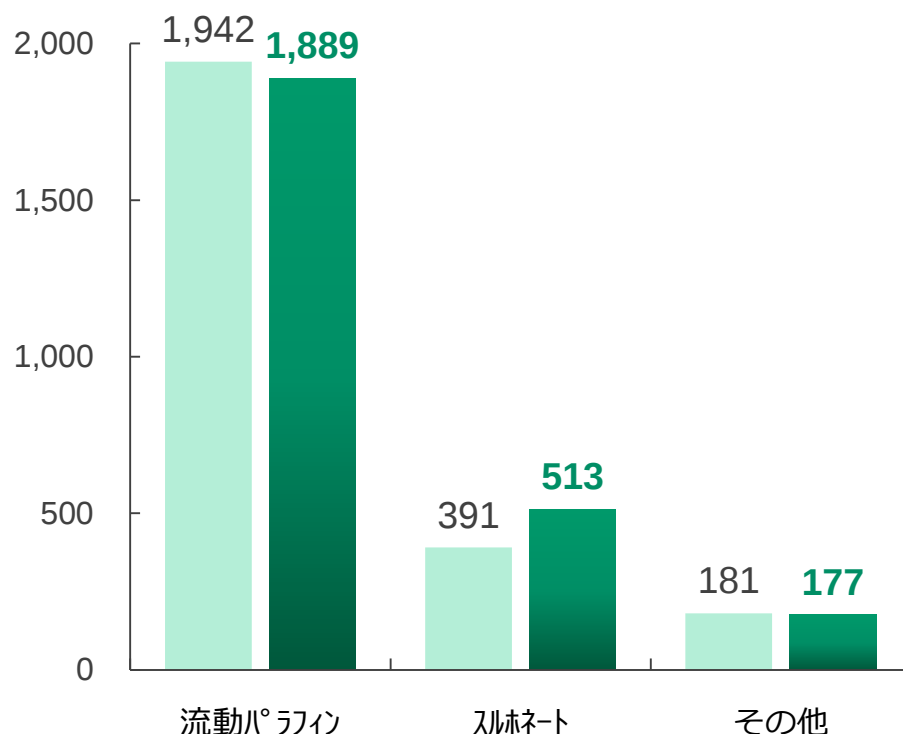
➤ ハードディスク表面潤滑剤

パーソナルコンピュータ分野でのSSDへの置換の影響を受け減収。
(中期的にはデータセンター用途でのHDD需要増を見込む)

- 部門全体の売上は前年比2.6%増（2,579百万円）
数量は6.2%減

単位：百万円

■ 20年 3 Q ■ 21年 3 Q



➤ 流動パラフィン

ポリスチレン可塑剤および化粧品用途が増収となった一方で、採算性を踏まえて一部取引の見直しを行ったことにより減収。

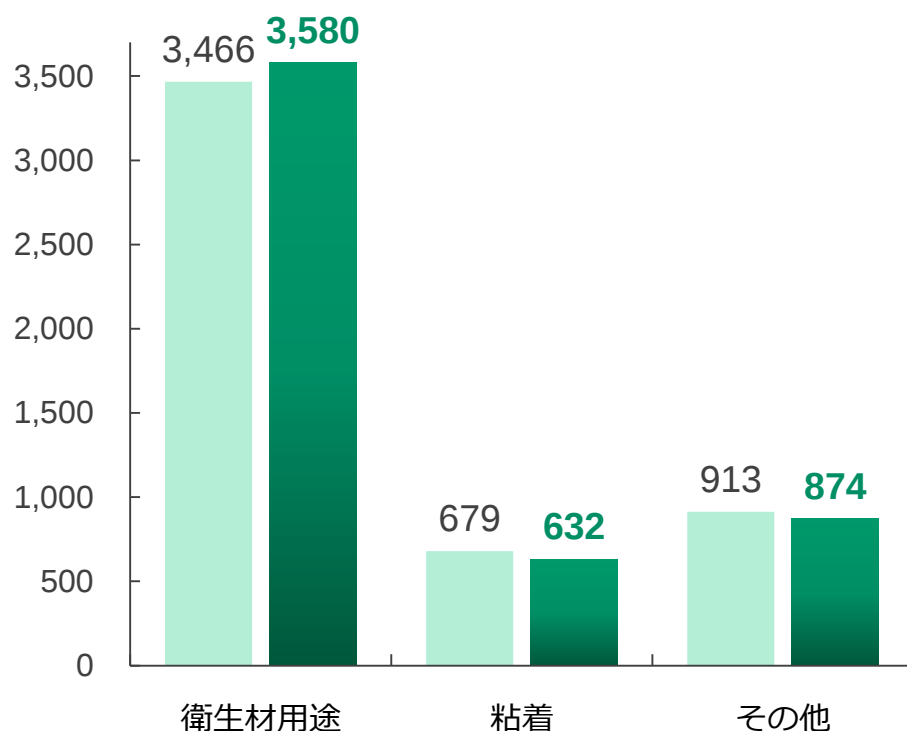
➤ スルホネート

自動車生産の回復により増収（主に金属加工油の添加剤として使用される）

- 部門全体の売上は前年比0.5%増（5,086百万円）
数量は0.2%増

単位：百万円

■ 20年 3 Q ■ 21年 3 Q



➤衛生材用途

国内では微減となるも、インドでの販売増により増収

➤その他

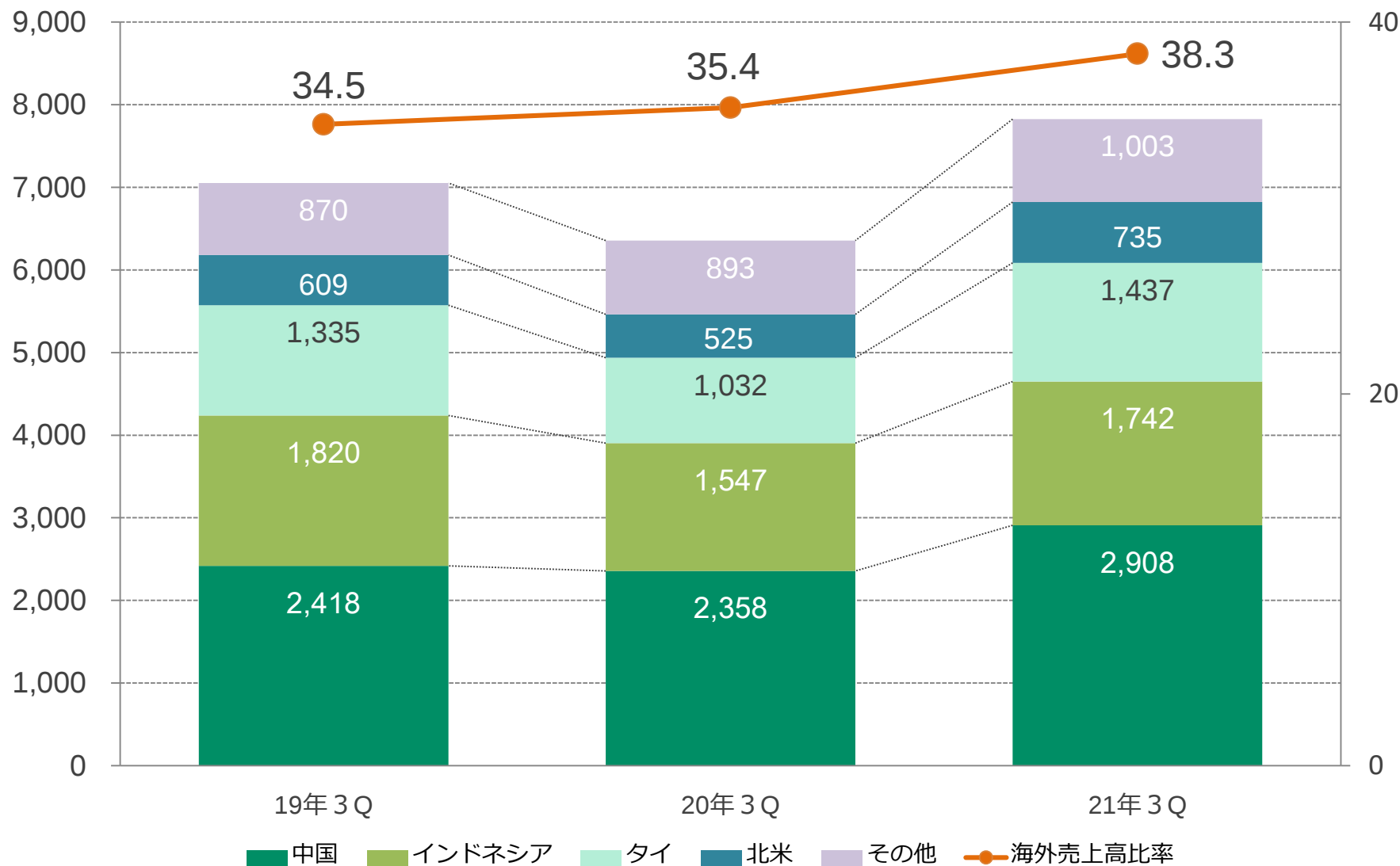
空気清浄機用フィルター用途が増収となるも全体では微減

海外売上高（連結）

MORESCO

単位：百万円

単位：%



決算概要 連結損益計算書

MORESCO

単位：百万円

科目	20 / 3Q累計	21 / 3Q累計	前年同期比
売上高	17,968	20,415	+13.6%
売上総利益	5,813	6,772	+16.5%
販管費	5,172	5,397	+4.3%
営業利益	641	1,375	+114.5%
営業外損益	15	357	—
経常利益	656	1,732	+164.0%
特別損益	△20	833	—
税引前利益	636	2,565	+303.5%
当期純利益 (※)	303	1,730	+470.7%

(※) 親会社株主に帰属する当期純利益。以下同様。

決算概要 連結損益計算書

MORESCO

単位：百万円

科目	20 / 3Q累計	21 / 3Q累計	前年同期比
売上高	17,968	20,415	+13.6%
売上総利益	5,813	6,772	+16.5%
販管費	5,172	5,397	+4.3%
営業利益	641	1,375	+114.5%
営業外損益	15	357	—
経常利益	656	1,732	+164.0%
特別損益	△20	833	—
税引前利益	636	2,565	+303.5%
当期純利益 (※)	303	1,730	+470.7%

(※) 親会社株主に帰属する当期純利益。以下同様。

単位：百万円

	20 / 3Q累計	21 / 3Q累計	増減	前年同期比
販売費・一般管理費	5,172	5,397	+225	+4.3%
うち、研究開発費	998	1,002	+4	+0.4%
売上高販管費比率	28.8%	26.4%		
売上高研究開発費比率	5.6%	4.9%		

決算概要 連結損益計算書

MORESCO

単位：百万円

科目	20 / 3Q累計	21 / 3Q累計	前年同期比
売上高	17,968	20,415	+13.6%
売上総利益	5,813	6,772	+16.5%
販管費	5,172	5,397	+4.3%
営業利益	641	1,375	+114.5%
営業外損益	15	357	—
経常利益	656	1,732	+164.0%
特別損益	△20	833	—
税引前利益	636	2,565	+303.5%
当期純利益 (※)	303	1,730	+470.7%

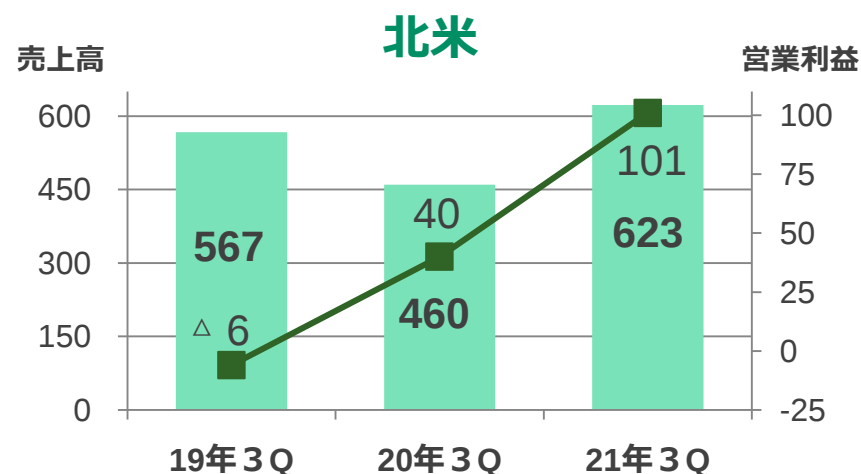
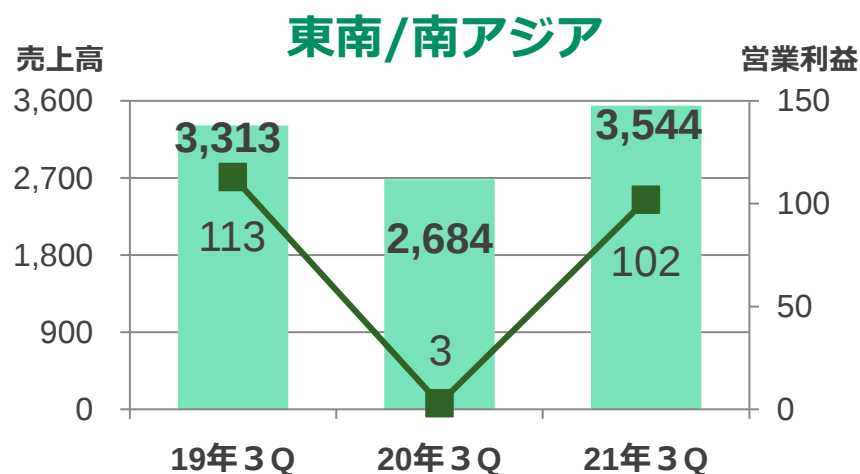
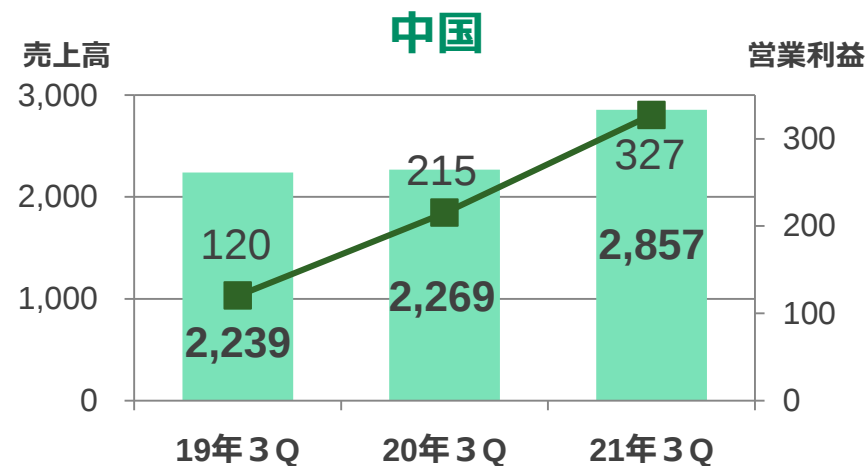
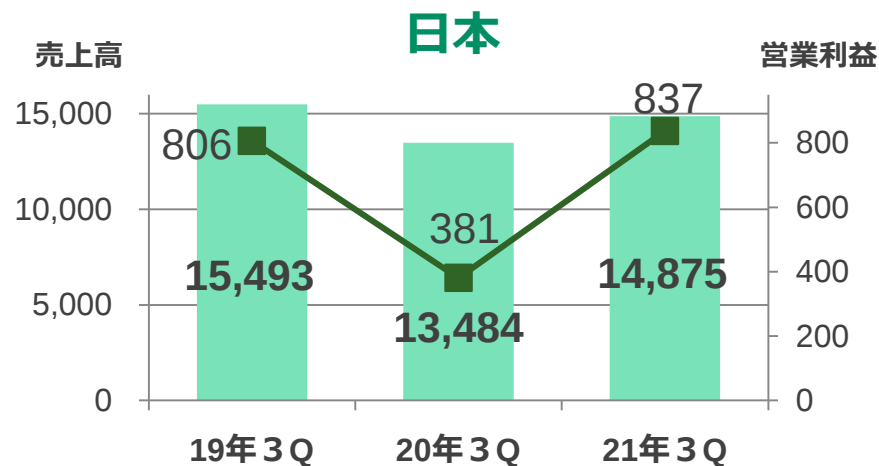
(※) 親会社株主に帰属する当期純利益。以下同様。

地域別損益（連結）

MORESCO

■ 売上高 ■ 営業利益

単位：百万円



貸借対照表（連結）

MORESCO

単位：百万円

科目	21/11期末	増減	科目	21/11期末	増減
現預金	4,090	△18	仕入債務	4,151	177
売上債権	6,800	157	有利子負債	983	△2,336
棚卸資産	5,044	802	その他流動負債	2,453	851
その他	343	32	その他固定負債	590	△59
流動資産計	16,276	972	負債合計	8,178	△1,367
有形固定資産	7,954	△564	資本金・資本剰余金	4,094	△0
無形固定資産	672	△120	利益剰余金	13,440	1,308
投資その他	3,320	228	自己株式	△384	5
固定資産計	11,947	△456	包括利益累計額	436	374
			非支配株主持分	2,460	196
			純資産合計	20,046	1,883
資産合計	28,223	516	負債・資本合計	28,223	516

注）増減：21/2期末との比較

単位：百万円

科目	21 / 2期末	21 / 11期末	増減
短期借入金※	2,544	553	△1,991
長期借入金	775	430	△345
借入金合計	3,319	983	△2,336

有利子負債比率	12.0%	3.5%
---------	-------	------

※ 1年以内返済予定の長期借入金を含む

2021年度 連結業績予想

MORESCO

単位：百万円

科目	2021年3Q	2021年度 通期予想	進捗率
売上高	20,415	26,870	76.0%
営業利益	1,375	1,560	88.1%
経常利益	1,732	1,900	91.2%
当期純利益	1,730	1,670	103.6%

持続可能社会の実現

➤植物由来樹脂を配合したホットメルト接着剤

- 植物等バイオマスから作られる製品は、燃やしても二酸化炭素の増減に影響を与えない。(カーボンニュートラル)
- 地球温暖化の原因となる温室効果ガスへの影響を抑制する。



品番	BM-546Z	BM-105	BM-508Z
バイオマス度	 バイオマス No.200115	 バイオマス No.200116	 バイオマス No.200114
主成分	合成ゴム	合成ゴム	合成ゴム
特長	汎用ラベル向け 強粘着・低ブリード	FDA175.125準拠 (食品直貼り可)	冷凍・冷蔵品へ 貼付け可能

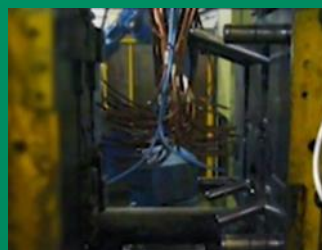
- ・ 日本有機資源協会からホットメルト粘着剤3品番がバイオマスマーク商品として認定。
- ・ 紙おむつ等を使用される衛生用品用ホットメルト接着剤についても、植物由来樹脂を20～40%配合した製品を開発。

➤ 水溶性少量塗布型離型剤

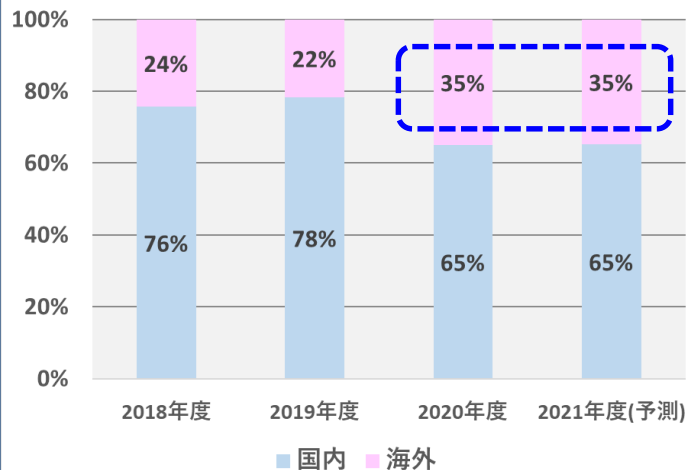
➤ 極少量塗布により廃液削減と金型の長寿命化に貢献する。

従来品

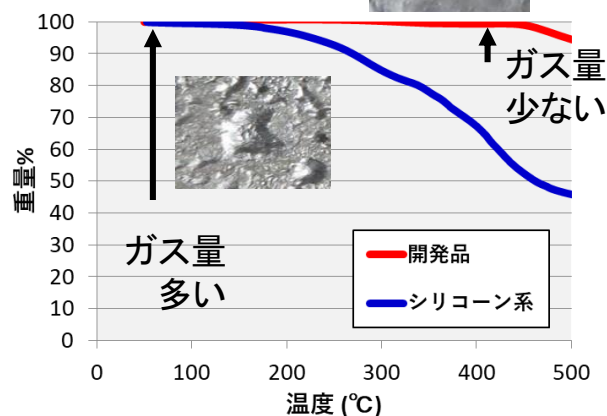
少量塗布



水溶性少量塗布離型剤の販売量の国内外比率



新製品の低ガス性



新製品の低腐食性

アルミ新合金
適合性試験

開発品

従来品



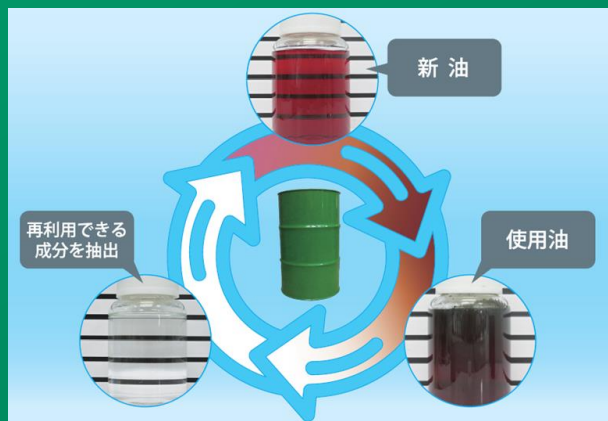
腐食なし

腐食あり

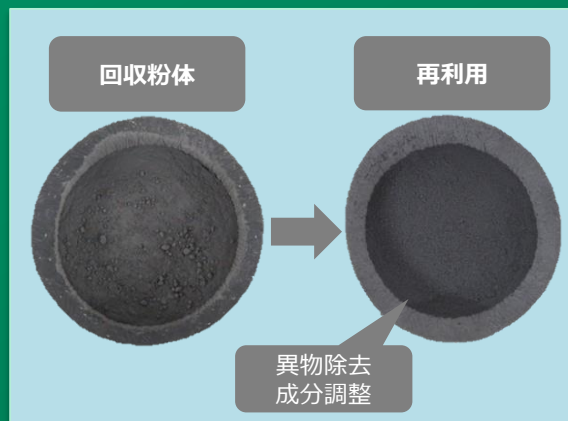
- ・ 希釈タイプと比べて約1/100の塗布量。
- ・ 新エネルギー車にも適用可能な低ガス性、低腐食性を有する新製品を開発。
- ・ 2020年度より海外比率が大きく増加。

➤ 特殊潤滑油のリサイクル

水グリコール系作動油



粉体離型剤



水溶性切削油



【従来からの取り組み】

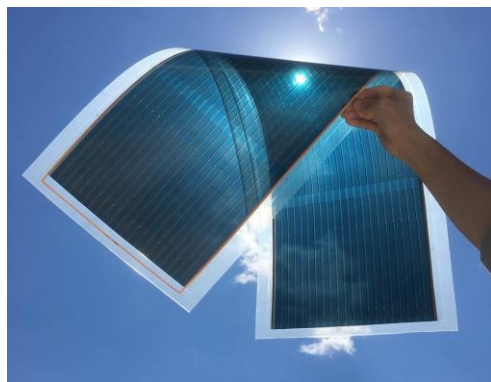
- ・ 古くなった水グリコール系作動油から劣化していない成分だけを抽出し、同製品の原材料として有効活用する。

【これからの取り組み】

- ・ 使用後の粉体離型剤を回収しリサイクルする。
- ・ 切削油の原材料にリサイクル原料を使用する。

➤有機薄膜太陽電池(OPV)

- OPVは生産時のCO2発生がシリコン太陽電池に比べて約1/5であり、太陽電池の中でもよりエコな太陽電池。
- 現在、国内では当社が唯一、連続印刷でのOPVのモジュールを作製。



フレキシブルなOPVモジュール



窓枠パネルへのOPV搭載
ビルメンテナンス会社へ設置



OPV表面への印刷によるデザイン付与

連続フィルムへ対応可能なレーザー技術により、自由なデザイン付与。
OPV表面への印刷により、様々なデザインを付与。
→より身近で電力が得られ、低炭素社会の実現に貢献。

新分野・新商品

➤ 水溶性切削油剤のモニタリングシステム

- 顧客が使用している切削油剤の状態を、IoTモニタリング装置を用いて遠隔管理する。

IoTモニタリング装置



モニタリング表示画面



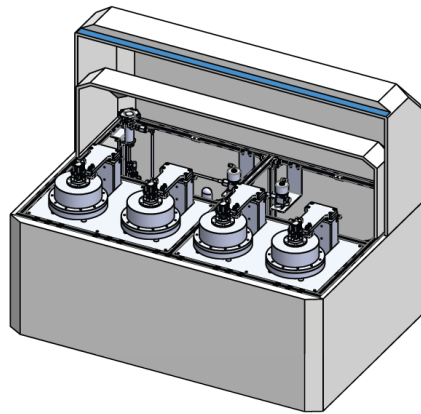
- pH値を常時監視し、適正值に収まるように自動で調整する。（PCやスマホから接続可能）
- 切削油剤の長寿命化、腐敗臭や変色等の抑制効果が見込まれる。

➤ ガス・水蒸気透過度測定装置

➤ 迅速・高感度、高精度でシートやフィルム状のガスバリア性が測定可能な装置。



現行装置
(MORESCO-SuperDetect)



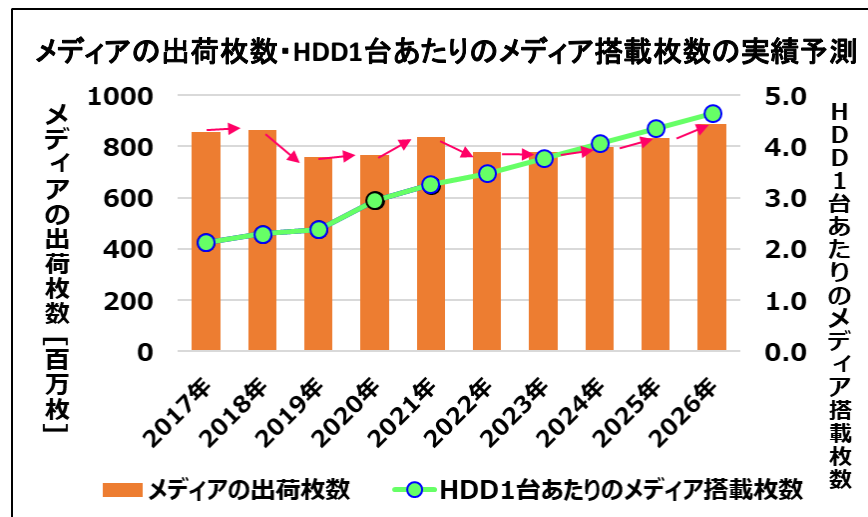
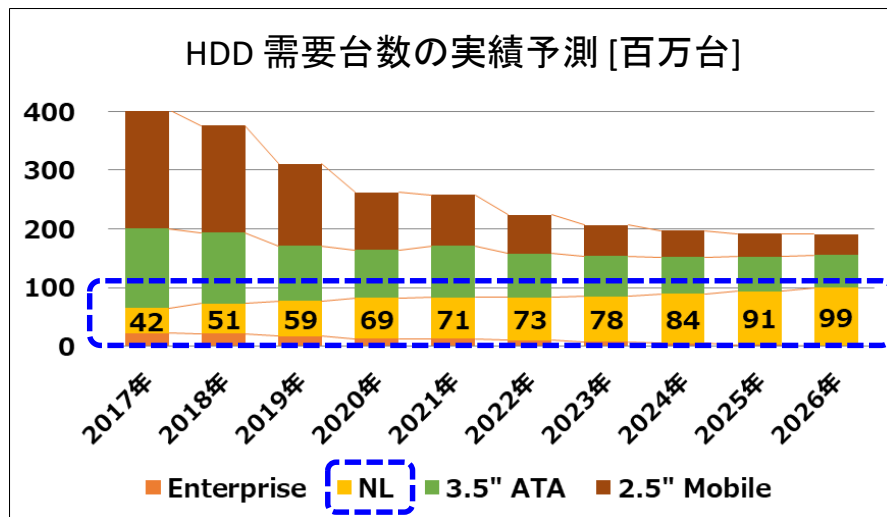
開発中の新装置
(マルチチャンバータイプ)

特長/装置	現行装置	開発中の 新装置	他社装置
試料室数 (チャンバー数)	○	◎	○
測定能力	◎	○	○
測定速度	○	◎	○
測定可能なガス	◎	◎	○

装置比較表

- ・ 水蒸気や多種のガスをより多くスピーディに測定できるマルチチャンバータイプを開発し、顧客の研究開発及び生産・品質管理に役立ちます。
- ・ **水素透過度測定への展開を広げ、SDGsにおける水素社会実現の材料開発に貢献します。**

次世代磁気ディスク用表面潤滑油



出典: 株式会社テクノ・システム・リサーチ

- ・ HDDの需要台数は年々減少傾向であるものの、データセンター向けのニアラインドライブ (NL)は成長が見込まれる。
- ・ ニアラインドライブはメディア搭載枚数が多いため、メディアの生産枚数はわずかであるが増加の傾向。

→既に弊社HDルブ品の90%以上をニアライン向けとして販売。

- ・ 従来以上の薄膜化により、記憶密度の向上と省エネルギー化を実現する新製品2種が大手 HDDメーカーのニアライン向け新規HDDに採用。

➤ MORESCO流「働き方改革」

業務革新による労働生産性の向上、多様な働き方の推進、
定年再雇用制度の充実を図り、従業員が更に活躍できる
MORESCOを目指します。

現在の取組内容

- 新型コロナウイルス感染予防対策
- リモートワークの推進
- フレックスタイムの充実
- 副業の自由化促進

取り組む課題

- SDGsをより意識した事業活動
- DXの推進

(デジタルトランスフォーメーション)

- ・ ITを取り入れた環境整備
- ・ RPAの活用

(ロボティック・プロセス・オートメーション)



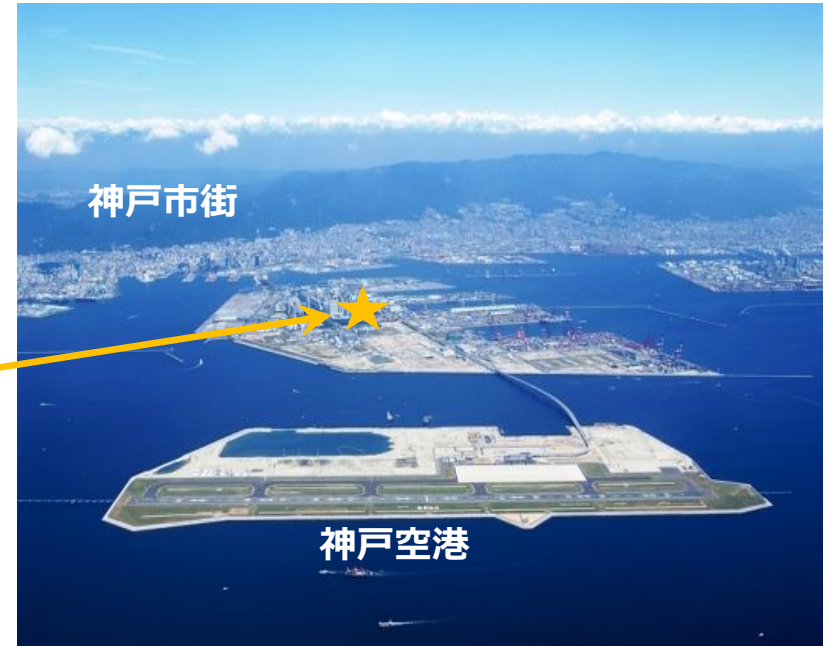
健康経営優良法人2021
(大規模法人部門)に認定



令和2年度「ひょうご仕事と生活の
バランス企業表彰」を受賞

——MORESCO健康経営宣言——

従業員が心身ともに健康であることが、企業の持続的な発展に不可欠と考え、「**一人一人が豊かな環境で育ち、新たな価値を育てていく会社**」を実現するため、従業員の健康づくりを推進していきます。



この資料に掲載されている業績見通し、その他今後の予測・戦略等に関わる情報は、本資料の作成時点における当社の判断に基づくものであり、今後、予告なしに変更することがあります。本資料記載の業績見通しや目標数値のみに全面的に依存して、投資判断を下すことによるいかなる損失に対しても、当社は責任を負いません。
なお、当資料を無断で複写複製、配布することを禁じます。

株式会社 **MORESCO**

2022/1

<https://www.moresco.co.jp/>
IR窓口 078-303-9051（経営企画部）